

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語  
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



## 都市と自然の境界で考える、“害獣”との共生

近年、都市部における害獣被害が深刻な問題となっています。かつて山間部や郊外に暮らしていた野生動物たちが、エサや住処を求めて町の中に現れるケースが増えてきています。本号では、都市害獣が増えている背景やその影響、私たちにできる対策についてお伝えします。

### 都市害獣の増加とその影響

近年、都市開発によって野生動物の住む場所が減り、エサを求めて市街地に現れるようになりました。人の出すゴミや食品廃棄物が格好のエサとなり、都市が“暮らしやすい場所”になっているのです。その結果、夜間に住宅街でアライグマやハクビシンが目撃されたり、ごみ置き場が荒らされたりといった被害が増えています。衛生や安全の面でもリスクが高まり、私たちの暮らしに少なからぬ影響を与えています。

### 建物への害獣被害の対策

建物への被害を防ぐには、まず屋内への侵入を防ぐことが大切です。そのためには、建物の外壁や屋根のすき間をふさぐ、不要な木を剪定するなど、物理的な対策が効果的です。例えば、ハクビシンは運動能力が高く、木や電線を伝って屋根裏などに入り込むことがあります。また、放置された空家や廃屋が“住処”になることもあり、その場合は地域全体での管理が必要不可欠になります。

### 農業被害も深刻に

都市部だけでなく、地方部での農作物の被害も深刻化しています。次の表は、2024年度における都道府県別の「害獣被害件数」と「被害額」の上位5県です。

害獣による被害件数 都道府県TOP5 (令和5年度) 情報元：農林水産省

順位	地域	件数	被害額
1位	北海道	445,105件	620,481万円
2位	岩手県	7,091件	51,764万円
3位	熊本県	4,598件	53,757万円
4位	群馬県	4,294件	32,255万円
5位	宮崎県	4,128件	27,425万円

他、全国の害獣の被害件数は511,899件  
被害額を合算すると約164億円、前年より8億増加

### ◆北海道での取り組み「鹿サミット」

被害が最も多かった北海道では、2025年2月に「第1回 鹿サミット -自然と響き合う-」が開催されました。シカによる農業被害や交通事故の増加を受けて、共生に向けた新たな知見や取り組みが話し合われたほか、地域ごとの課題や成功事例の共有も行われました。被害を「防ぐ」だけでなく、「共に生きる」ための方法を探る動きが全国各地で始まりつつあります。

### 人と自然が共存する社会へ

シェルグループでは、害虫獣を一方的に“ワルモノ”とせず、命ある存在として尊重しながら、人と害虫獣の「棲み分け」を提唱しています。人と自然が共存する社会、それが持続可能な社会の基盤となると考えています。



## トコジラミ対策シリーズ第二弾！ 『トコジラめ Check Tape』6月リリース予定

シェルグループでは、国内外で深刻化するトコジラミ被害に対し、「早期発見」と「被害拡大防止」をキーワードに、対策商材の開発・提供を進めています。2024年6月に第一弾としてリリースした『トコジラめ誘引トラップ』に続き、このたび第二弾となる対策商材『トコジラめ Check Tape』を新たにリリースします！

### 『トコジラめ Check Tape』とは

トコジラミの移動経路や潜伏箇所への侵入をテープで捕獲・可視化し、被害の兆候を把握できるモニタリングテープです。最大の特徴は、緊急対応や効果判定シーンでの利用に特化しています。設置後は目で確認が可能で、被害の拡大防止に役立ちます。

### ◆トコジラミ対策資材の使い分け

トコジラめ誘引トラップ	
使用シーン	日常のハウスキーピング作業でチェック
主な目的	トコジラミの早期発見
トコジラめ Check Tape <span style="color: orange;">★“New”</span>	
使用シーン	トコジラミの発生が疑われる場合にチェック
主な目的	調査・駆除作業までの間や、隣接する部屋、通路への拡散防止
使用シーン	駆除作業後の効果判定のチェック
主な目的	捕獲効率と作業効率の最大化

**トコジラめ Check Tape**

対象生物  
トコジラミ

黒色両面粘着テープ  
捕獲効率UP!

貼るだけで  
とおせんぼ。誘引成分配合！ 取扱い簡単！

食品添加物由来 粘着跡が残りにくい



『トコジラめ』商材で、「予防」の仕組みづくりを一度発生すると完全駆除が困難とされるトコジラミは、宿泊業界において売り止め対応や風評被害など、大きなリスクを伴います。シェルグループでは、被害を最小限に抑える『予防』の仕組みづくりを推奨しています。『トコジラめ』シリーズは、「早期発見」と「被害拡大防止」の二軸から、現場での“見える”対策としてサポートします。

## 今月のInsect



写真/解説  
中峰 空  
8thCAL技術顧問  
真面目昆虫館館長



### ヤマトシロアリ

(大和白蟻)

ゴキブリ目ミゾガシラシロアリ科  
学名: Reticulitermes speratus

翅アリ7mm、兵アリ3~6mm、働きアリ3~5mm。森の中の湿った枯れ木に生息するが木造建築も食害し、ときに大害虫となる。乾燥・高温の環境では体内の共生微生物が死ぬので生きていけない。4月から5月の雨後の暖かい日の午前中に翅アリが出現し結婚飛行を行う。北海道からトカラ列島、国外では朝鮮半島に分布。

## Information

### ● Pick up 展示会情報

NEW環境展/地球温暖化防止展

会期: 2025年5月28日(水)~5月30日(金)

詳細: <https://www.n-expo.jp/>

### 害蟲展season6開催決定! ※8thCAL主催の公募展です

作品公募を開始しました。(2025年2月3日(月)~6月9日(月)17時迄)

公式HP: <https://sites.google.com/8thcal.design/exhibition/>

### ● 「トコジラめ」トピックス情報

「トコジラミ白書2025」リリース!

→ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000082097.html>

予防×駆除サービスの特設サイト「トコジラめ」を設置しています!

→ <https://ur0.jp/vd5EN>

### Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから!

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

